

# 令和3年度事業報告書

学校法人 緑ヶ岡学園

## 1. 法人の概要

### (1) 法人の名称・所在地

法人の名称 : 学校法人緑ヶ岡学園  
法人の所在地 : 北海道釧路市緑ヶ岡1丁目10番42号

### (2) 設置する学校・学科等

釧路短期大学 生活科学科、幼児教育学科  
北海道釧路市緑ヶ岡1丁目10番42号  
武修館高等学校 全日制課程・普通科  
北海道釧路市武佐5丁目9番1号  
武修館中学校  
北海道釧路市武佐5丁目9番1号  
釧路短期大学附属幼稚園  
北海道釧路市緑ヶ岡1丁目10番42号

### (3) 入学定員、総定員、学生数の状況

(単位:人)

収 入		入学定員	総定員	入学者数	総学生数	充 足 率
短期大学	生活科学科	50	100	33	78	78.0 %
	幼児教育学科	50	100	46	85	85.0 %
	計	100	200	79	163	81.5 %
武修館高等学校	普通科	140	420	101	319	76.0 %
武修館中学校		40	120	12	36	30.0 %
短期大学附属幼稚園			75	27	76	101.3 %
学 園 合 計		280	815	219	594	72.9 %

### (4) 理事・監事・評議員・教職員の概要等

理 事 定数 7名～10名 現員 7名  
監 事 定数 2名 現員 2名  
評議員 定数 15名～22名 現員 16名  
教職員

	専任教員	専任職員	兼務教員	兼務職員	計
短期大学	16 人	14 人	40 人	2 人	72 人
武修館高等学校	27 人	8 人	25 人	5 人	65 人
武修館中学校	7 人	2 人	16 人	1 人	26 人
短期大学附属幼稚園	11 人		6 人	4 人	21 人
学 園 合 計	61 人	24 人	87 人	12 人	184 人

## 2. 事業の概要

### (1) 法人

経営強化推進計画の推進 (R元～R5)  
短期大学、高等学校・中学校のLED化  
短期大学の暖房設備の一部ガス化

### (2) 釧路短期大学

釧路短期大学は、北海道東部地域の豊富な学習資源を基盤に、図書館司書・栄養士・保育士・幼稚園教諭など専門的職業人を育成している。学生の8割以上が地元出身であり、教育理念の重要な柱に「地域貢献」を明示し、地域密着型教育の定着・拡充を進めている。令和元年9月には釧路短期大学・地域連携推進プログラムを策定し、これからの地域連携推進の目標と計画を定め、より一層地域に開かれた地域に求められる大学たるよう多様な事業を行った。なお、新型コロナウイルス感染及び感染拡大防止のため、いくつかの事業は中止・延期し、いくつかの事業は規模縮小や方法変更のうえで実施した。

## 1. 教育活動

- ①生活科学専攻において2年目となる観光実務士養成カリキュラムにより、本学初の観光実務士として12名が資格取得を果たした。 <生活科学科生活科学専攻>
- ②学内合同企業説明会、卒業生による就職講演会等の実施、さらに受け入れ企業を交えたインターンシップ 報告会開催など徹底した感染対策のもとキャリア教育に力を入れた。 <生活科学科生活科学専攻>
- ③図書館司書に関する学修の成果を生かし、新型コロナ感染防止対策を徹底した上で、釧路市中央図書館と共催イベントを実施するなど地域貢献を展開した。 <生活科学科生活科学専攻>
- ④給食実務校外実習は新型コロナウイルスにより医療機関等の実習受け入れ困難の中、様々な調整を行い、栄養士免許希望者全員の実習を完遂した。
- ⑤新しい栄養士養成のためのモデル・コア・カリキュラムに沿った栄養士養成カリキュラムならびに付与資格の見直しを図り、令和4年度入学生用カリキュラムを改訂し、フードスペシャリスト資格を廃止、メディカルクラーク（医科）資格を新設した。 <生活科学科食物栄養専攻>
- ⑥教育実習（幼稚園）、保育実習Ⅰ・Ⅱ（保育所）、保育実習Ⅲ・Ⅳ（施設）を実施した。秋に実施した保育実習Ⅱ・Ⅲでは、コロナウイルス感染症の関係により、一部の実習園では途中で中断し、時期を改めての実施となった。また、1月末に実施予定だった保育実習Ⅰ（前半5日間）は、北海道の「まん延防止等重点措置」の期間と重なったため、比較的感染者が少ない地域でも2月末、多くは3月に繰り下げて実施した
- ⑦音楽ゼミ・アートゼミ「みんなでひろがろう『ただいま・おかえりって言いあえるまち』トーンチャイムのコンサート」（MOO・EGG、7月31日）を実施した。  
音楽ゼミ、進藤信子教授「0歳児からのChristmas Concert」（MOO・EGGコンサートパレス、12/4）
- ⑧音楽ゼミ（進藤教授）、クリスマス・トーンチャイム演奏（釧路市東部子育て支援センター、12/24）
- ⑨リカレント講座「保護者支援～気になる子どもの保護者に伴走するということ」、講師 阿部美穂子先生（山梨県立大学教授）を招き、リモート（本学より配信）で実施した（9月16日夜、約60名が参加※、幼児教育学科主催、本学・くしろせんもん学校共催；隔年で交互に主催を担当。※画面表示がなく複数名視聴された場合もあり、正確な人数は不明）
- ⑩「第8回KJCランド～こどものあそびの日」（教員・学生共同企画・運営）を実施した。今回は、コロナウイルス感染症の状況が当初より心配されたため、規模を縮小し、学科1・2年生合同グループごとに実施した（附属幼稚園をはじめ近隣保育機関への訪問3件、本学体育館に招待1件（以上、12月17日午前）、一般公募限定10組の親子を体育館に招待1件（12月18日午前））
- ⑪認定こども園法改正に伴う幼稚園免許状授与の所要資格の特例講座（現職保育士対象）を前年に続き開講した。
- ⑫全国保育士試験の会場校として、4月・10月の年2回（各2日間）を継続して引き受け、実施のための運営・監督人員を提供している（幼児教育学科および教務・学生課）
- ⑬言語論（幼児教育学科1年・幼保両資格必修科目）を一部集中（4回分）、残りをリモ

- ートという初めての形式で実施した（講師は札幌在住）
- ⑭9月に予定されていた北海道保健福祉部による指定保育士養成施設の指導調査は、コロナウイルス感染症拡大のため延期となった（→令和4年7月28日午後～29日）
  - ⑮全学あげて主体的な学習への転換と社会性伸長のため、学習環境整備をすすめた。
    - i) 教育課程を改正した（学科共通科目の「一般教育科目」を「共通教養科目」へ改編し、2021年度入学生より適用した）
    - ii) 新型コロナウイルス感染症対策への緊急対応（Zoom、Google Classroom活用）を機にWi-Fi整備とOA機器を活用した教育研究の実践を拡大した
    - iii) ラーニング・コモンズの利用をすすめ、学生の主体的集団的な授業外学習の定着を図った
  - ⑯FD・SD活動を行った。
    - i) FDは授業評価・研修（学修成果の可視化と本学学生のプログテスト結果の分析）を実施し、授業改善を進めた
    - ii) SDは研修（学生の成長支援「特別な支援を要する学生の支援の実際」）を実施した
  - ⑰初年次教育については情報収集をした。
  - ⑱前2年度分の教育活動を中心に「令和元年度 釧路短期大学自己点検・評価報告書」をまとめ、年度末に発行した。なお、令和3年度は認証評価対象年度に該当する。
- ## 2. 地域連携推進プログラムの取組
- ①学生企画の地域連携事業として、「KJCランド～こどものあそびの日～」、「幼い子どもたちのためのクリスマスコンサート」などを実施した。
  - ②管内高等学校へ「高校生のための出前講座」を実施（4件）した。
  - ③釧路市との連携協力に関する協定に基づき、連携協力事業を継続し、定期協議を実施し確認した。
  - ④地産地消の推進をするための連携組織（くしろ地産地消ネットワーク）に参加した。
- ## 3. 学生支援体制の整備
- ①ハローワークくしろによる就職サポートルームを毎週1回、学生相談室に置き、学卒ジョブサポーターによる就職相談、求人紹介、面接指導等を継続するとともに、互いの情報交換や連携を密にし、学生の早期就職内定の向上を図った。
  - ②全求職者のハローワーク求人登録を推進し、卒業後の支援強化を短大と連携し、強化した。
  - ③就職委員だけではなく、ゼミナール担当教員などによる就職サポートの協力強化要請を深めるため、学科内での就職活動情報を積極的に共有し合い、学生の就活支援に繋がった。
  - ④ジョブカフェ北海道、ハローワークによる就活セミナーのほか、電話応対、就職メイク講習、卒業生による就職講演会、学内合同企業説明会等を開催した。
  - ⑤卒業時に就職支援に関するアンケート調査を実施（8年目）し、この結果を踏まえ、今年度の就職ガイダンスの内容の改善を図った。
  - ⑥求人票に最新求人のマークや役立つ情報を追記し、学生が活用しやすいよう整備した。
  - ⑦学生の相談体制を継続（健康調査により事前に傾向を把握、障害学生支援規程を整え支援の早期化を検討）した。
  - ⑧学生による環境整備活動「釧路短キャンパス環境ネットワーク」（任意登録）により、主体的に学ぶ環境づくりを推進（校地内・町内清掃ほか実施）した。
  - ⑨ワークスタディ学習奨励金制度により、1名の学生が学内業務に従事した。
  - ⑩ピア・サポートを実施し、学生相互の成長と交流を図った。
  - ⑪同窓会奨学基金制度による修学資金給付を実施（導入7年目、奨学生1名）した。
  - ⑫学生研修講座を開催（「健康講座」、「交通安全講座」「デートDV防止講座」）した。
  - ⑬初年次教育プログラムの一環、司書による文献探索講座等を実施（4回）した。
  - ⑭英語の苦手を克服する「英語補習授業」を継続実施（9年目）した。

#### 4. 附属図書館・生涯教育センター

- ①図書館蔵書管理システムおよび蔵書検索システムを継続して運用した。
- ②令和3年度の図書館利用状況 蔵書冊数-47,405冊 入館者数-13,037人  
貸出冊数 学生-2,044冊 教職員-992冊 学外者-326冊 合計3,362冊  
学生一人あたりの年間貸出冊数-12.6冊  
タブレットPCの館内貸出-8件
- ③司書による文献探索講座等を実施(3回)した。
- ④ライティング支援機能について、学生、教職員に向けての広報の充実を図った。
- ⑤釧路信用金庫と一般社団法人ドット道東との共催による公開セミナー「道東の新しいカタチをつくる」を企画し参加者を募ったが、新型コロナウイルス感染症拡大から急遽中止とした。
- ⑥図書館資料で巡る地域セミナー「幣舞橋エリア、その価値・意味・意義」を企画し参加者を募ったが、緊急事態宣言の発出により、対面型での実施を断念。印刷教材と演術要旨を配布する通信講座に切り替えた。(登録者数35名)
- ⑦新型コロナウイルスの感染予防として、カウンターにビニールカーテンを設置、また図書館入口と閲覧室内の数カ所に消毒用ハンドジェル設置などの対策を継続して行った。
- ⑧学生の学習支援、教職員の研究・教育・地域貢献の支援、利用しやすい蔵書・情報のアクセス構築、学生の学習の場としての業務を志向した。

### (3) 武修館高等学校

高等学校は、釧路地区唯一の私立高校として、独自の伝統と校風に基づき、「地域から必要とされる私学」、「地域から信頼され、期待される私学」を目指し、校訓「愛と奉仕に生きる」の精神に基づき「社会の良き形成者としての資質と教養を身につけるとともに、愛と奉仕に生きる人間を育成する」ことを目標に教育活動を展開してきた。

生徒、保護者及び地域の多様なニーズに応えるため、①生徒個々の興味・関心、進路に応じたきめ細かな教育を実現し社会に有益な人材の育成を目指した普通コース、②高度な競技力の習得とともに心身の育成を図り、将来のスポーツ振興の担い手やトップアスリートの育成を目指した体育コース、③併設中学校との6年間の教育により国公立大学及び難関私立大学への進学を目指した一貫コースの3コースを設置し、私学武修館でしか受けられない教育を展開している。また、入学者の多数を占める普通コースには、3系列(特進系、進学A系、進学B系)を導入し、完成年度を迎えた。

令和3年度は、感染症対策から多くの教育活動が実施が叶わなかった。

- ①3コースの目的に合った課外講習・長期休業中講習の実施。
- ②三大奉仕活動(市内一斉清掃・全国車いすマラソン・献血奉仕)をはじめとする奉仕活動の継続実施。
- ③地域にも定着した武修生の挨拶・礼儀の徹底。
- ④中卒者の減少期における生徒確保(魅力ある授業の構築と生徒に寄り添った指導の推進)多くの選択科目設置及びガイダンス機能を充実した教育課程の編成、混合クラス検証等。
- ⑤実践英語及び異文化理解を深めるため、ホームステイを柱としたオーストラリアでの語学研修の計画。
- ⑥漢検・英検・数検及び商業・情報系検定等の各種検定対策講座の充実・実施。
- ⑦職場見学(1年)、インターンシップ(2年)等によるキャリア教育の充実。
- ⑧進路実績 進学浪人6名(北大医、北大理受験者等)、就職91.7%(93.5%)

※( )前年度

	進学						就職			未定	卒業数
	国立大学	公立大学	私立大学	私立短大	専修各種	計	公務員	民間団体	計		
R3	2	2	24	8	38	74	2	20	22	8	104

R2	5	2	50	9	27	93	6	23	29	10	132
H31	3	0	30	13	41	87	9	40	49	8	144
H30	6	0	36	6	15	63	3	20	23	0	87
H29	3	5	32	9	18	67	2	23	25	7	97
H28	1	3	28	2	17	51	6	22	28	9	88
H27	4	5	26	3	11	49	5	15	20	8	77
H26	2	3	27	6	13	51	5	26	31	13	88
H25	3	2	20	5	31	61	9	26	35	4	100

国公立大学（北海道大学①、北教大岩見沢1、金沢大学1、釧路公立大2、防衛大（準大）1）

私立大学（早稲田大3、慶応大1、東京理科大2、立命館大2、明治大2、青山学院大1、法政大2、関西学院大1、日大1、東洋大2、駒沢大2、専修大1、明治学院大2、芝浦工大2、国学院大1、神奈川大1など）

公務員（消防、自衛官）

⑨就学支援制度の保護者への周知徹底による活用促進。

（外部制度：就学支援金・授業料軽減・北海道高等学校奨学会・日本学生支援機構）

（本校独自制度：兄弟姉妹授業料減免・経済支援奨学生）

⑩交通安全への意識醸成。（春の全国交通安全運動に伴う「5者合同出動式」への参加、外部専門家を招いての講演（中高合同）の実施。）

⑪学校行事への保護者の支援・協力体制の構築とPTA活動の活性化。

（校外研修への積極的参加、武窓祭・湿原強歩大会での協力、会員研修会の実施）

⑫経費節減運動の継続実施。

⑬特別外部広報チームを軸とした生徒募集の強化。 新入生100名の確保

⑭校内研修や教育内容の検証を通じた教職員の意識改革。

⑮主要行事報告

4月9日 第57回入学式（101名）

4月16日 市内一斉清掃奉仕活動（三大奉仕活動・中高合同）

5月21日 JRC・IRC加盟登録式（HR単位で実施）

8月24日 第1回中学校進路担当者説明会（教員22名参加）

10月16日 第2回中学校進路担当者説明会 中止

10月23日 第1回オープンスクール（生徒136名参加）8月18日実施予定であったもの

11月16日 武窓祭 7月2日より変更 1日日程 一般公開なし

11月20日 第2回オープンスクール兼入試問題対策研究会（生徒87名参加）

※入試対策は中止

12月16日 推薦入学試験（28名合格（昨年42名））

1月17日 専願入学試験（34名合格（昨年35名））

2月16日 一般学力入学試験 釧路市観光国際交流センターにて実施 受験者866名

3月1日 第56回卒業式 卒業生、教職員の参加 内容を短縮して実施  
実施

〈感染症対策により中止になった行事〉

・IRC・JRC加盟登録式・全国車椅子マラソン応援ボランティア

・湿原強歩大会・一貫：海外語学研修・見学旅行・献血奉仕活動

#### (4) 武修館中学校

中学校は、平成17年の開校以来、道東唯一の私立併設型中高一貫校として6年間の教育を通じ、校訓「愛と奉仕に生きる」に基づいた「高い知性と豊かな心を持ち国際感覚豊かな生徒の育成」を目指した計画的な高度の教育活動を展開してきた。特に、中高の接続をスムーズに「生徒個々が課題解決や目標実現に向けて、自ら考え、自ら行動し、解決するなどの力の育成」に力を注いできた。

目指すべき教育を実現すべく、令和3年度は以下の教育活動を重点的に計画し、実施に努めたが、感染症防止対策により計画通りに実施できた教育活動は少く、悔いが残る。

少子化による小学卒業生の大幅減少は、本校入学者を減らす結果となり厳しい状況にある。開校時の定員80名、現在の定員40名は、これまで一度も満たされたことはない。それどころか大きく定員を下回っているのが現状である。

現状を踏まえ抜本的な見直し、検討が必要である。

- ①異文化理解の深化と英語力の向上を図るため、長期アメリカ留学及び貿易会社勤務経験のある時間講師(臨時免許)の採用。
- ②大学入試改革への対応と語学学習の充実に向けた中学校及び高校での見学旅行を1本化し、高校1年次に2週間の語学研修への移行。
- ③大学受験予備校模擬試験の全学年受験の実施。(進路意識の啓発・向上)
- ④学習理解を深めるための個別指導の強化。
- ⑤自主性を重んじた課外学習の実施。(火・木7時間目、英数国の実施)
- ⑥漢検・数検・英検の上位級合格を目指した講習の充実・実施。
- ⑦本校の三大ボランティア活動を中心とした奉仕活動の継続。  
(市内一斉清掃、車いすマラソンの他に地域高齢者とのふれあい)
- ⑧体づくりを目指した体育的行事の充実。(体育祭・遠足・スケート教室の実施)
- ⑨キャリア教育の充実・実施。(職場体験・進路講話等)
- ⑩経費節減運動の継続実施。
- ⑪主要行事報告

4月9日 第17回入学式(12名)

中高入学生、保護者各家庭原則1名、教職員の参加で実施

4月16日 市内一斉清掃奉仕活動(三大奉仕活動:中高合同)

4月23日 新入生歓迎会

4月28日 学力推移調査①

5月10日 漢字英単語テスト

5月11日~家庭訪問(中止、7月に学校での面談)

5月21日 JRC加盟登録式(HR単位で実施)

6月23日 職場体験(中止)

7月5日~二者面談(1・2年)、三者面談(3年)

※5月11日から実施予定であった家庭訪問に変えて

7月10日 第1回オープンスクール(児童24名、保護者27名参加)

※6月12日実施予定であったもの

7月27日~8月18日 夏季休業

8月6日 推薦入学試験(5名合格、入学者5名)

9月24日 学力推移調査②

10月15日 遠足(別保公園)

10月20日~22日 宿泊研修(1年)研修地:川湯温泉

感染諸対策:引率教員1名増...9月15日~17日実施予定

10月30日 体育祭

11月7日 第2回オープンスクール、入試問題研究会(児童9名、保護者12名参加)

11月16日 武窓祭(7月2日実施予定を変更し1日日程で実施、一般参観なし)

12月15日 進路講話 講師:保険代理店ジャパンプランニング 取締役 安田浩佑氏

12月22日 学力入学試験(1名合格、入学者なし)

3月14日 第15回卒業式(12名)生徒・教職員のみ参加、内容縮小

<感染症対策により中止になった行事>

・JRC加盟登録式・職場体験・車椅子マラソン応援ボランティア・夏季合宿講習

・地域高齢者との交流ボランティア ・スケート教室 ・カルタ大会

(5) 釧路短期大学附属幼稚園

①基本方針（教育目標）

- i) 明るく元気に遊ぶ子ども
- ii) 素直で優しい子ども
- iii) 最後までやりぬく子ども

※3つの教育目標を達成するため、教職員は日々の保育を計画し実践する

◎子ども達の遊びを応援する幼稚園

◎小学校への継続を踏まえた保育を行い、卒園後も見守る幼稚園

※2つの方針のもと、日々の保育を計画的に進めていく

②令和3年度事業の特色

- i) 各クラス2名以上の職員による設定保育と全職員による自由遊びの充実
- ii) 幼小連携の継続と強化
- iii) コロナウイルスの感染予防のため卒園児お泊まり会は実施できなかったが、卒園児への支援
- iv) 子育て支援（未就園児クラス カンガルークラブの充実）
- v) 子育て支援事業の充実（親子で集うさくらんぼクラブ・子育て相談の充実）
- vi) ふぞく祭（バザー）の継続による地域開放・保護者との連携
- vii) 固定遊具の定期点検による安全確保と衛生意識の向上
- viii) 幼稚園型認定こども園として長時間の預かり保育に配慮した運営
- ix) 一時預かり事業初年度の運営

③通常事業

- i) 体験重視の保育内容＝園外保育の拡大
- ii) 釧路短期大学との連携＝学生の保育見学、行事参加、幼稚園からの授業協力
- iii) 預かり保育の充実＝働く保護者の支援
- iv) 保育を必要とする園児（2号）の長時間保育の充実
- v) スケート保育＝地域性を生かした保育
- vi) 祖父母交流会の開催
- vii) 学校評価・自己評価の充実
- viii) コロナウイルスの感染予防に配慮した行事の充実
- ix) 父母会との連携協力・父さんズの活動（コロナウイルスの感染予防のため、例年通りにできない行事があった。）
- x) 小・中・高校生の見学・職場体験の受け入れ
- xi) ケース会議や担任・副担任交替など、子ども達を複数で見守り支援する取り組み
- xii) 若手教員の育成と、園内・園外での研修の推進

④職員数及び園児数（2022. 3. 31）

		令和3年度	令和2年度	令和元年度
職員数	園長	1	1	1
	教員	9	10	9
	教員【パート】	6	5	5
	職員	0	0	0
	職員【パート】	4	4	4
園児数	5歳児	23	25	21
	4歳児	26	25	25
	3歳児	24	25	25
	満3歳児	5	4	3
	計	78	79	74
	カンガルークラブ	14	18	18

### 3. 財務の概要

#### (事業活動収支計算書)

(単位：千円)

		R 元年度	R 2 年度	R 3 年度	備 考
教育活動収支	収 入	739,867	775,466	678,468	
	支 出	745,710	768,425	722,022	
	収支差額	△ 5,843	7,041	△ 43,554	
教育活動外収支	収 入	22	17	13	
	支 出	908	765	606	
	収支差額	△ 886	△ 748	△ 593	
経常収支差額		△ 6,729	6,293	△ 44,147	
特別収支	収 入	4,434	4,553	18,973	
	支 出	0	0	0	
	収支差額	4,434	4,553	18,973	
基本金組入前当年度収支差額		△ 2,295	10,846	△ 25,174	
基本金組入額		4,894	23,640	47,079	
当年度収支差額		△ 7,189	△ 12,794	△ 72,253	
人件費総額		526,407	535,166	486,049	
補助金総額		334,069	362,982	348,071	
借入金期末残高		250,050	220,840	173,630	
翌年度繰越支払資金		559,286	586,659	543,371	
学生・生徒数 (人)		699	639	594	
		教70、職35	教67、職33	教69、職34	